

令和6年度 自己評価書

令和7年3月21日
真庭市立川上こども園
園長 岩崎 由紀恵

1. 川上こども園の教育保育目標

○豊かな人間性をもった心身ともに健康なこどもの育成

- ・元気いっぱい
- ・優しさいっぱい
- ・やる気いっぱい川上の子

2. 本年度の重点目標

○子どもをまんなかにした温かい保育を目標にし、認定こども園として保育指針を踏まえ、安心して安全な質の高い保育を目指している。

- ・非認知能力に着目し、一人一人の子どもの育ちを捉え、保育者の読み取りや関わりについて探りながら、心と体を育てる保育・教育を行う。
- ・保育の振り返り等を通して、子どもの発達段階や支援の仕方について職員間で共通理解をもち、専門性の向上につなげる
- ・保護者の方が、子育ての喜びを実感できるような保育を計画的に行い、共通理解をはかりながら、共に成長していける関わりや温かい保育を進める。

3. 園評価の個別評価

評価指標	考 察	園総合評価
教育課程・指導計画	園の保育目標及び今年度の重点目標に沿った計画の立案や保育の振り返りが、概ねできていた。	3
行事	子どもの興味関心を大切に捉え、無理のない形で楽しめる園行事につなげることができたと思う。	4
組織・運営	職員が組織の一員としての意識をもち、サポートし合いながら園運営に携わることができていた。	4
学級経営	子ども一人一人を大切に受け止め、信頼関係の中で子ども主体の保育実践ができた。	3
特別支援教育	子どもの特性を理解し家庭や関係機関との連携を図りながら、支援方法を園全体で考えていくようにした。	3
安全管理・保健指導	質の良い睡眠について園だよりやアンケート等で啓発した。また、不審者訓練を行い、見直しをした。	3
研修（資質向上）	園内研修として様々な話し合いをしたり、県の研究部員の職員を中心に、人権研修を数回行った。	4
情報提供・保護者・地域との連携	保護者への発信は、コドモンやボードで活動写真の掲示等、工夫して行えた。地域との連携は今後の課題。	4
小学校との接続・連携	今年度は5月にモニタリングを実施。就学に向けても、必要に応じて個別対応しながら連携をとった。	3
子育て支援	必要に応じて話し合いの場をもったりお便り発信など、子育てが楽しめるように配慮している。	4
食育の推進（給食）	栽培した野菜を新鮮なうちに給食に取り入れるなど、食育の推進ができていた。	3
食事の提供（調理）	子どもの実態に合わせた調理形態の配慮や、アレルギー一児の対応も適切だった。	3

4. その他必要な評価

評価指標	考 察	園総合評価
その他1（保育士）	「職員相互がそれぞれ立場を理解し、協力しながら園運営に関わった」という項目の評価が高かった。	4
その他2（調理員）	衛生面の徹底や自己の健康管理、職員間での報連相や保育士との連携も取れていた。	4

5. 本年度の重点目標及び総合的な評価結果の考察等

○重点目標について

- ・全職員がチームとなり一人一人を大切にしながら、目標に向かって保育・教育を進めた。岡山県保育協議会人権研修部員として、1名が研究に携わっていたため、復命後に事例検討、各職員のアンケート実施をした。一人一人を大切にしながら、非認知能力を意識したり子ども達の発達に即した主体的・対話的で深い学びができるような計画を立てたりなど職員の共通理解ができてきた。
- ・職員の振り返りや専門性の向上については、昨年度に引き続き基礎的な人権についての研修から始め保育者としての自覚や責任をもち、子ども達と関わる事ができているかを振り返りながら、専門職として自身の学びを積み重ね取り組んでいた。しかし、全職員が同じように共通理解できにくい部分があった為、課題が残っている。来年度も引き続き研修を行い、職員が学び合う姿勢をもち各自が成果と課題を見つけていけるようにしたいと思う。

○その他

- ・地域の方々との関わりについての項目では、感染症の状況が落ち着き、少しずつ行事を戻した。行事の内容については、子ども達の為に必要であるかどうかを改めて精査する必要があると感じている。
- ・給食業務については、日々の衛生管理、安全管理の徹底やアレルギー児への対応等適切にできた。保育者とも連携をとりながら安心安全な給食の提供ができていた。栄養士や担任を中心にさらなる食育指導を進めていきたい。

6. 評価結果を受けての具体的な改善方策等

- ・地域交流については、見直ししながら昨年度より増やした。年長児が中心となっているが、年中児も参加出来るように内容など工夫する事が、課題である。
- ・今年度の重点目標に対しても、継続的な取り組みが必要であると考えている。保育の振り返りを大切に、園内研修のあり方を工夫しながら、専門性の向上に努めていきたい。
- ・今後も保護者との信頼関係を築きながら、子ども達の保育・教育に対する理解と協力を得ることができるようになっていかなければならないと思う。

園評価基準

評価	基準	
4	80%以上の達成度	十分達成されている
3	60%以上80%未満の達成度	概ね達成されている
2	40%以上60%未満の達成度	取り組まれているが、成果が十分でない
1	40%未満の達成度	取り組みが不十分である